

用語集

1	大分県芸術文化振興会議（P5）	<p>1965年（昭和39年）年に設立され、目的は、①大分県内の芸術文化団体による自主的な活動を支援、②芸術文化団体の地域や分野を越えた幅広い連携を促進、③地域社会における県民・行政・企業とのパートナーシップを深める、④①～③を通じ県民の心豊かで創造的な生活の実現や大分県の芸術文化の振興に寄与することです。</p> <p>事業内容は、県内文化団体に関する情報収集や、県内の小中学校などでの公演・美術展、団体会員実施事業への補助など多岐にわたっています。</p> <p>会員数は団体163団体、個人123名です（2012年（平成24年）5月現在）。</p>
2	アウトリーチ（P5）	<p>普段芸術に接する機会が少ない人々に興味と関心を持ってもらうため、芸術家や企画者側が小中学校などさまざまな場所に出向いて、対外的な体験活動の機会を提供する取り組みです。</p>
3	ワークショップ（P5）	<p>元来は「工房、作業場」を意味する言葉ですが、現在は参加者が共同作業やディスカッション等を通じて行う学びや創造の場、問題解決の場のことで、文化・芸術の場合、体験教室を指すこともあります。</p>
4	日本風景街道（P11）	<p>日本風景街道は、日本風景街道戦略会議からの提言を受け、国土交通省が取り組んでいる事業です。</p> <p>郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促すことで、地域活性化、観光振興に寄与し、これにより、国土文化の再興につながることを目的としています。</p>
5	磯崎新（P12）	<p>本市出身の世界的建築家で、東京大学数物系大学院建築学博士課程修了後、東京大学、UCLA、ハーバード大学、コロンビア大学など国内外の客員教授を務めています。</p> <p>市内には磯崎建築として県立図書館、アートプラザ、岩田学園、大分市情報学習センター、富士見カントリークラブハウスがあります。</p>
6	豊の国ねんりんピック（P15）	<p>大分県、大分県教育委員会、大分県社会福祉協議会が主催で、高齢者を中心とする県民の健康と生きがいの高揚を図るとともに、地域間・世代間交流を通じてふれあいと活力のある長寿社会づくりを目的に毎年開催されています。</p> <p>スポーツの大会・イベント数23、文化関連の大会・展示会数5つと多種多様な内容があります。</p>

7	多文化共生社会 (P 16)	国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことのできる社会のことです。
8	創造都市政策 (P 16)	1990年代後半から欧米で始まった政策で、文化・芸術のもつ創造性を活かして産業振興や経済活性化を進めようとするものです。 横浜市では、2007年(平成19年)に企業、各種団体、行政が連携して「創造都市横浜推進協議会」を設立し、行政への提言や企業から提案されるクリエイティブ推進事業を支援しています。
9	SNS (P 22)	Social Networking Service(ソーシャルネットワーキングサービス)の略称です。 インターネット上で人と人がつながり、情報交換や会話などコミュニケーションすることが目的のサービス。主なものに Facebook(フェイスブック)や mixi(ミクシー)などがあります。
10	国際協力機構九州 国際センター (JICA九州) (P 30)	海外からの研修員受入事業・青年海外協力隊やシニア海外ボランティア等の募集・国際理解教育支援及び国際協力の広報啓発活動などを行っている JICA の九州での総合窓口です。